読者の広場

南極料理から大切な食学ぶ

加藤　雄太（14）
（別海町上西春別中学校2年）

南極料理とは何か。それはいろいろな食材をあますことなく使った料理のことです。ぼくは、初め見た時はあまりパッとしないと感じました。しかし、むだなく食材をあますことなく使っていることに感心しました。難しいことですが南極料理にはその工夫がたくさん使われているからです。

料理人の西村さんは、マイナス三十度をこえる過酷な環境の中で、限られた食材を使いその食材をあますことなく使い、あらゆる工夫をして多彩なメニューを作ってきました。例えば生臭いアザラシの肉をこまかくして、やさいと混ぜ合わせ、ギョウザを作ったりしていました。西村さんは、「食の提供は、毎日続く地味な作業だが人間は食べないと生きていけない。」と食べものは人が生きていくためにはとても大切だと語ってくれました。

西村さんによると、これらの料理がすこしでもみんなの手にとどきやすいものにするため、店などをつくることを考えているそうです。みんなが、むだのない南極料理のすばらしさを知るよい機会になり食材のむだをへらそうと考える人が増えると思いました。みなさんも南極料理を食べその技術や食の大切さに気づいてもらいたいです。

熊本のサッカーチームに感動

齋藤　祥平（14）
（別海町上西春別中学校2年）

最近、熊本で地震があった。結構な被害だった。熊本のサッカーチームが震災後初の試合で負けてしまったけれど熊本のために全力でプレーしてる姿に熊本サポーターは涙を流した。このように自分が全力でプレーすることで、周りの人が良い気持ちになる。だから何でも全力で取り組むことが大切だと思う。

熊本のサッカーチームのキャプテンは、復興のために我々は協力すると発言し、僕は応援する気持ちになった。復興している様子をTVで取り上げられてるのを見ると全力で復興作業をしていて、感動した。さらに応援したくなった。試合を延期してまで復興に全力で取り組む選手は、優しい人だなと思った。震災後初の試合で、0−2と、一点も決められず負けてしまった。しかし、サポーターは応援しているチームが負けて、悔し涙ではなく、感動の涙を流した。僕は、熊本の選手が被災者に全力で手助けし、サポーターが熊本の選手を全力で応援することで、お互いが幸せになり良い気分になると思った。

このように全力で何かを取り組むことで、かかわる人皆が幸せになる。だから、何ごとも全力で取り組むことが大切なのだと思う。

あいさつから意思の疎通を

松本　洸太（14）
（別海町上西春別中学校2年）

あいさつをするというのは、人間社会の中でとても大切なものだと思う。何故なら、あいさつは誰でも出来、誰とでも出来るからだ。

あいさつは普段話す機会がない人でも、恥ずかしくて、長々話す事が出来ない人でも、簡単に「おはよう」「こんにちわ」の一言でコミュニケーションを取る事が出来る。たとえそれが外国人で、英語が苦手だという人でも「ハロー」の一言でコミュニケーションが取れてしまう。何故ならあいさつは世界共通の言葉だからだ。日本人は外国人のように、コミュニケーションを取るのが難しいという人がほとんどだ。しかし、あいさつをする事でコミュニケーション能力の向上になり、あいさつをきっかけに、会話につなぐという事も出来る素晴らしい言葉なのだ。

このようにあいさつは、言語が違う国でも簡単にコミュニケーションを取ることが出来、人と人との心をつなげるものである。だからあいさつをたくさんする事は、大切だと思う。

自分の成長に部活動が必要

大仲　花実（14）
（別海町上西春別中学校2年）

私は勉強や部活において自分が成長していくためには厳しい学習や練習が必要だと思う。

学年が上がって卓球部の先生が変わり前より練習が厳しくなった。楽しいことだけじゃなく、つらいことも増えてきた。けれど、厳しくなって練習量も増えたことで自分の技術が向上していくのを実感することができたのだ。また、試合でも初めて一勝することができ、とても嬉しかった。これらの経験を通して、自分が成長していくためには厳しい練習も必要だと思った。そして厳しさをのりこえると嬉しさがあるので次の厳しい練習にも、がんばってのりこえられることができるのだ。

だから、私はこれから厳しい練習や、つらいことがあっても今まで経験したことをバネにして前向きにがんばっていきたい。

朝の運動で頭をスッキリ

泉　渋起（14）
（別海町上西春別中学校2年）

ぼくは、朝運動は必要だと思う。なぜなら朝はねむいという人が多いと思う。そこで、朝、運動して頭をスッキリさせて一時間目から頭をフル回転させて勉強をうけたらいいと思うからだ。

ぼくの学校ではマラソン大会にむけて朝走っている。みんなで共通の運動をすることで友達とマラソンの話で盛り上がるようになった。また、すれちがう人とあいさつをすることでコミュニケーションをとることができるようになった。さらに自分に負けたくないと思いながら走るので心が強くなると思うのだ。だから、運動をすることはとてもいいことだと思う。

このように、朝運動はいいことばかりなので、みなさんの学校でもやってみてはどうだろうか。

投稿される方へ

ファクス　電子メールでも受け付けます

▽字数は500字以内。手書きの場合は原稿用紙に。内容に関連した写真も歓迎します。趣旨を生かして原稿に一部手を加えることもあります。▽原稿には、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。紙上匿名は特に希望する場合は可とします。個人の誹謗中傷や掲載にふさわしくないと判断したものは不採用とします。他紙との二重投稿はお断りします。▽掲載分には薄謝を贈ります。原稿の採否、返却の問い合わせには応じられません。▽宛先は、郵便番号085−8650、釧路市黒金町7の3、釧路新聞社「読者の広場」係へ。ファクスは0154（22）8021、電子メールはrepo@news-kushiro.jp（添付文書での送付はご遠慮ください）。